

ミニラグビー競技運営の基本方針

- 「安全」は、いつでもどこでもすべてに優先する。
- 「試合をしたい」という選手の願いを可能な限りかなえる。
- 試合は相手がいるからできる。対戦相手に感謝する気持ちを持つ。
- 子どもたちにとって大会競技は、貴重な成長の場である。
- 「勝利」より「指導」を優先する。一時の喜びより、子どもの成長は価値が大きい。
- 子どもの試合を、指導員の満足のために行わない。
- 子どもの成長を阻む大人（指導員や父母など）の行動、言動をたしなめることに躊躇しない。
- 選手の前で、レフリーのジャッジに異議を唱えない。唱えさせない。
- 優勝チームを決めるのは、競技力の優劣を決めるためではない。選手の努力を讃えるためである。